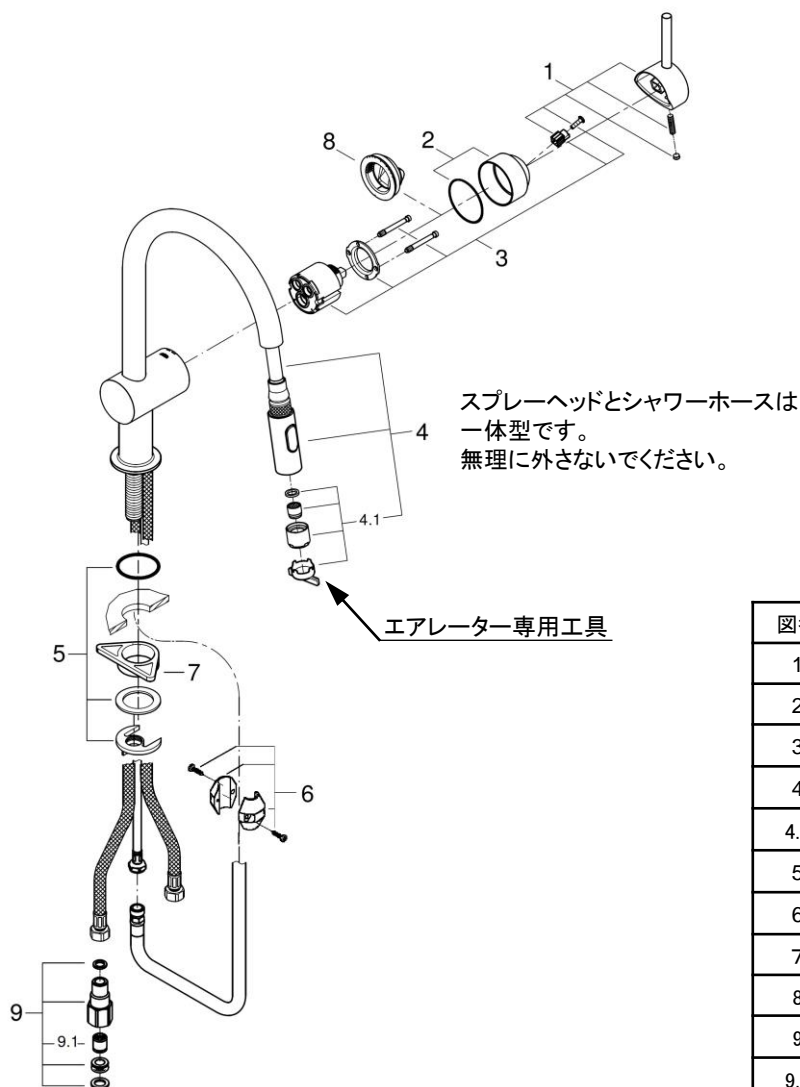


MINTA シングルレバーキッチン混合栓据付説明書 (お客様にお渡しください)

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この据付説明書に記載されていない方法で据付され、それが原因で故障が生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認してください。お客さまに引き渡すときは、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
- この据付説明書は、取扱説明書と共にお客さまで保管頂くように依頼してください。
- 同梱部材の数量、キズ等の確認をしてください。

各部名称



図番	名称
1	開閉レバー
2	化粧カバー
3	セラミックカートリッジ
4	スプレーヘッド(ホース一体型)
4.1	エアレーター
5	締付セット
6	おもり
7	三角固定板
8	温度リミッター
9	接続アダプター
9.1	逆止弁

- ※ 必ず施工前に欠品やキズの有無をご確認ください。
- ※ 欠品やキズがあった場合は遅滞なく購入先へ連絡をお願いします。
- ※ 水道工事を実施しない場合は、水道工事ご担当者さまへ引き継ぎをお願いいたします。
- ※ エアレーター専用工具は施工後、お客様にお渡しください。

安全上の注意

据付前にこの「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく据付してください。
ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠注意

湯水を逆に配管しないでください。

※水を出そうとしても、湯が出てヤケドをすることがあります。

お客様に引き渡す前に凍結が予想される場合は水を抜いておいてください。

寒冷地仕様の水抜き方法は、取扱説明書を参照ください。

※凍結破損で漏水し、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

据付完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れの無いこと、開閉レバー・ハンドルが閉じていることを確認してください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

一度、水を含んだパッキンは水漏れの原因になります。再度使用しないで新品をご用意ください。

※漏水で、家財を濡らす財産損害発生の恐れがあります。

使用条件

●給水、給湯圧力

◇貯湯式温水器(ボイラー、電気温水器)と組み合わせる場合

最低必要圧力0.1MPa〔1kgf/cm²〕(流動圧)～最高圧力0.74MPa〔7.5kgf/cm²〕(静水圧)の範囲とします。

給水・給湯圧力は必ず同圧にしてください。

◇給水圧力が0.74MPa〔7.5kgf/cm²〕を超える場合は、市販の減圧弁等で適正圧力に減圧してください。

●水勢の調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓の設置をおすすめします。

●給湯に蒸気を使用しないでください。

●水栓下部を点検出来るように必ず点検窓を設けてください。

据付前の注意

●給水配管が右側、給湯配管が左側に配管されていることを確かめてください。

●給水は上水道に接続してください。

※井戸水、温泉水など異物を多く含む水には使用できません。

●開梱、取り付けの際には商品の表面に傷をつけないように十分に注意してください。

●必ず配管中の異物(ゴミ、砂等)を完全に洗い流してください。

●寒冷地仕様は不凍栓等を設置した寒冷地仕様配管設備でないと使用できません。

●配管接続部を隠ぺいしないでください。

●給水・給湯ホース緩み防止の為、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

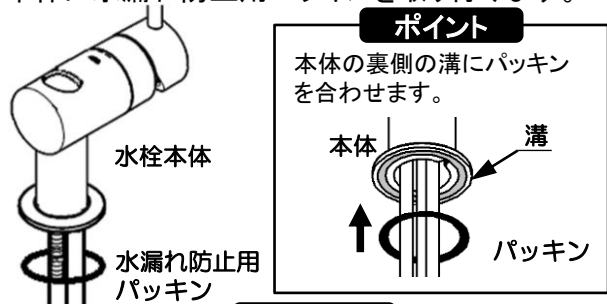
●給水給湯接続ねじは平行ねじG1/2です。テーパねじ(TP1/2,R1/2)には使用しないでください。

また止水には付属のパッキンを必ず使用してください。

据付手順

1. 本体の準備

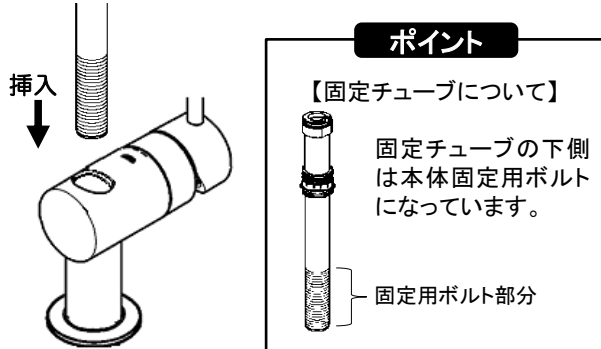
1. 本体に水漏れ防止用パッキンを取り付けます。



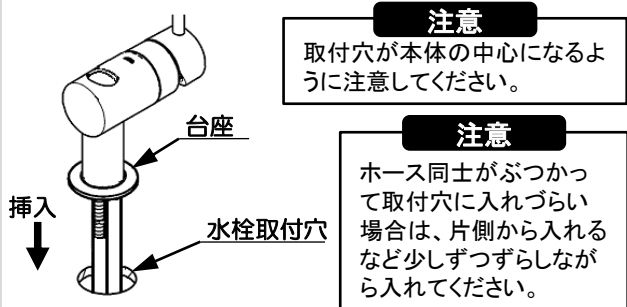
注意

パッキンが溝からズレると漏水の原因になりますのでご注意ください。

3. 固定チューブを本体に差し込みます。

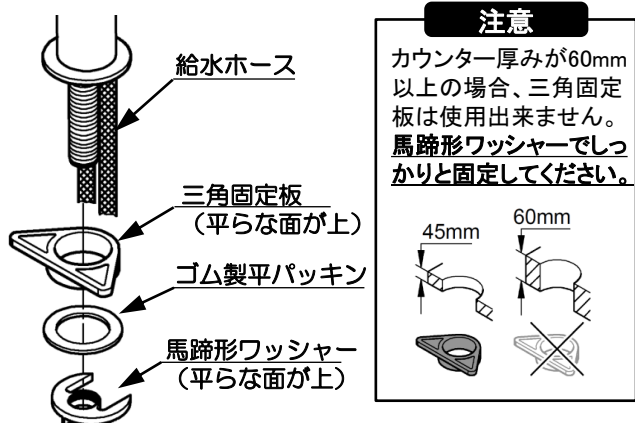


2. 本体をカウンター上部から取付穴に挿入します。

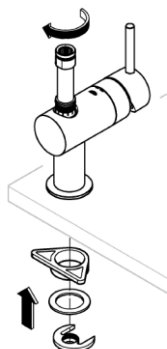
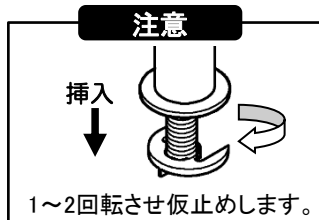


2. 本体の固定

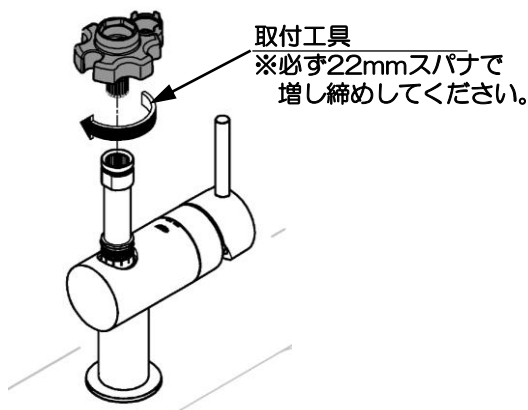
1. 三角固定板、ゴム製平パッキン、馬蹄形ワッシャーをカウンター下からホースに挿入します。



2. 固定チューブを手で回し、馬蹄形ワッシャーに仮止めします。



3. 取付工具を使って、固定チューブをしっかりとねじこみます。



注意

三角固定板・馬蹄形ワッシャーがきちんと重なっていることを確認してください。

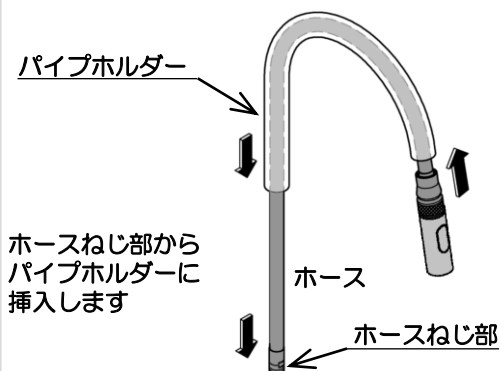
ポイント

- 固定チューブをしっかりとねじ込んだ後、必ず22mmスパナで増し締めします。
- 締付後、本体にグラつきがないことを確認して下さい。
- 水栓本体の台座と馬蹄形ワッシャーが、カウンターをはさみ込み、固定されます。

据付手順

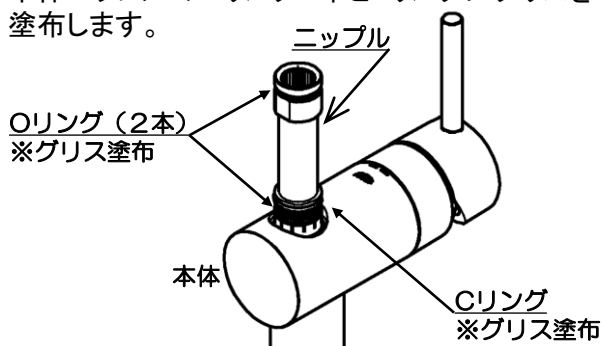
3. パイプホルダーの取付け

1. パイプホルダーにホースを挿入します。

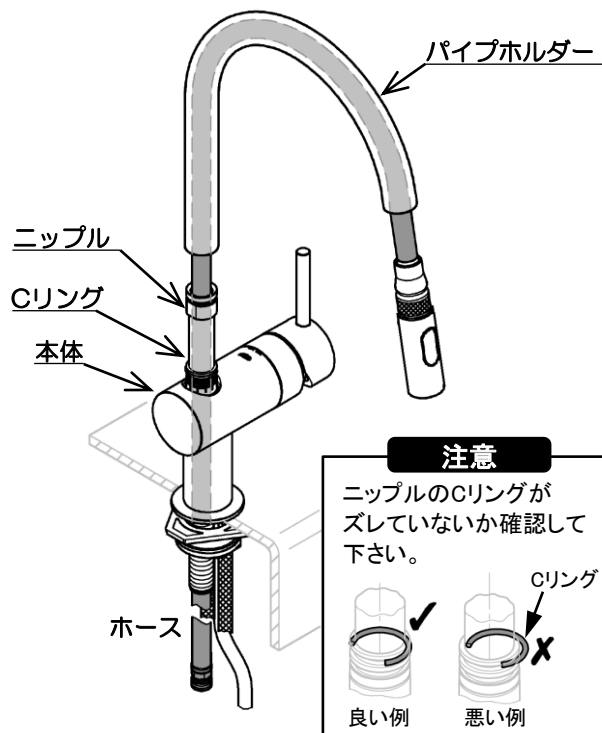


ホースねじ部から
パイプホルダーに
挿入します

2. 本体ニップルのOリング2本とCリングにグリスを塗布します。

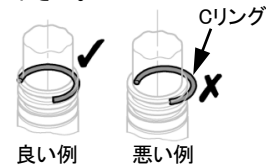


3. 本体ニップルにホースを挿入し、パイプホルダーを取付けます。



注意

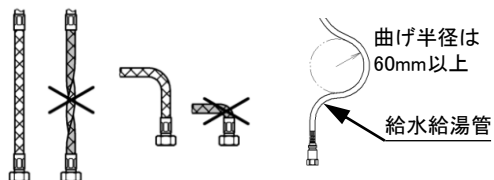
ニップルのCリングがズれていないか確認して下さい。



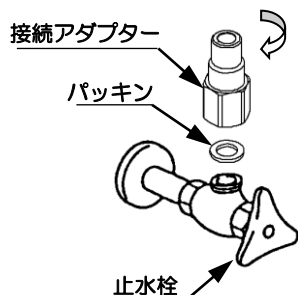
4. 接続アダプターの接続方法

注意

- ・給湯配管には給湯ホースのみ接続してください。
 - ・給水・給湯管同士が接触しないよう、注意してください。
 - ・Oリングのキズやゴミかみに注意してください。
 - ・給水・給湯管がねじれないよう注意してください。
 - ・給水・給湯管を曲げる場合は、曲げ半径60mm以上確保してください。
- ※漏水の原因となります。



1. 接続アダプターを止水栓に固定します。



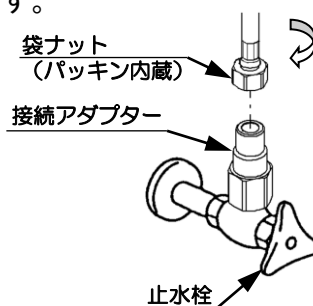
注意

寒冷地用は
部品が
異なります。

注意

締付は200～300kgf・cmのトルクで行ってください。
初期の締付が弱いと漏水の原因になります

3. 給水・給湯管の袋ナットを接続アダプターに接続します。



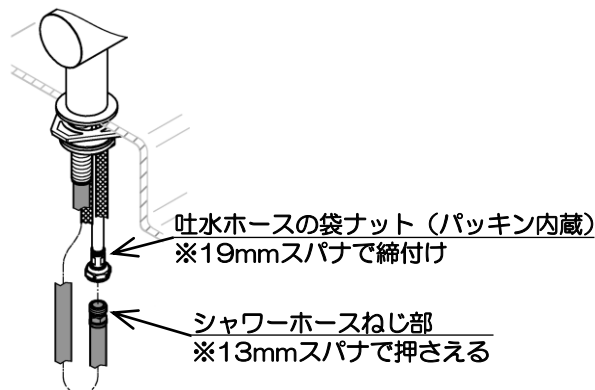
注意

- ・本体袋ナットにパッキンがあるか確認してください。
- ・給水・給湯管の不要な接触は避けてください。
- ※干渉によりホースが劣化する恐れがあります。
- ・接続アダプターに付属の袋ナット用パッキンは使用しません。現場にて廃棄してください。

据付手順

5. 本体の吐水ホースとシャワーホース接続

吐水管の袋ナットにホースねじ部を取付けます

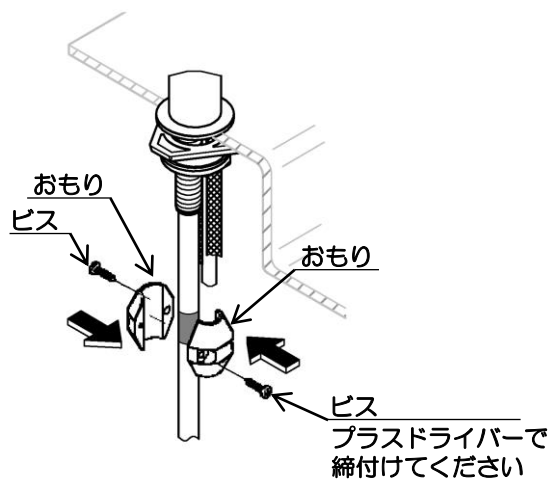


注意

- ・取付けには必ず工具を使用してください。
- ・締付過ぎにご注意ください。
- ・ホースがねじれないように注意してください。
- ※漏水の原因になります。

6. ホース用おもりの取付けと引出しホースの動作確認

1. ホースの取付位置テープをおもりの中央位置で両側からはさみ、ビスで固定します。

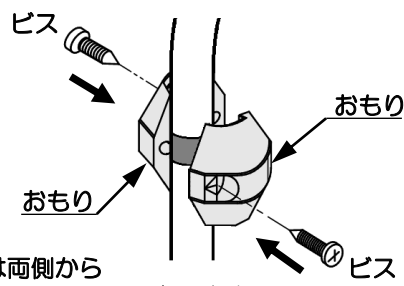


注意

おもりは必ず取付位置テープの位置に取付けてください。
※引出しホースが破損し漏水の原因になります。

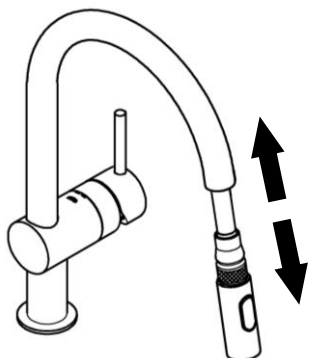
ポイント

おもりは、スプレーヘッドの納まりをよくするためと、引き出したときのストッパーの役目をします。



おもりは両側から
プラスドライバーで固定します。

2. スプレーヘッドを出し入れし、ねじれや引っ掛かりがなくスムーズに動作することを確認してください。



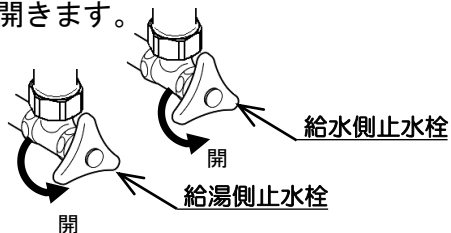
注意

シャワーホースが
給水・給湯管と干渉しない
ことを確認してください。

取付後の確認

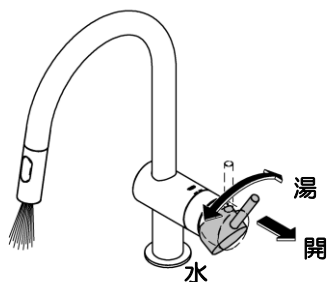
1. 通水確認

1. 水栓のレバーハンドルを閉じ、給水・給湯の止水栓を開きます。

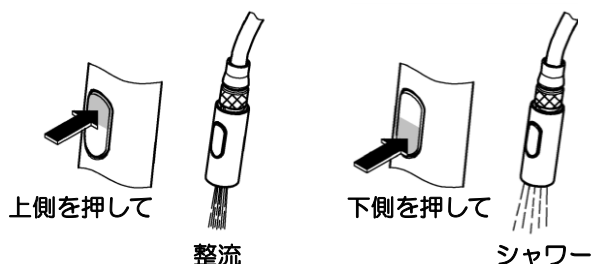


2. 湯側・水側それぞれの通水確認と、スプレーヘッドの切替確認をします。

湯・水の通水確認



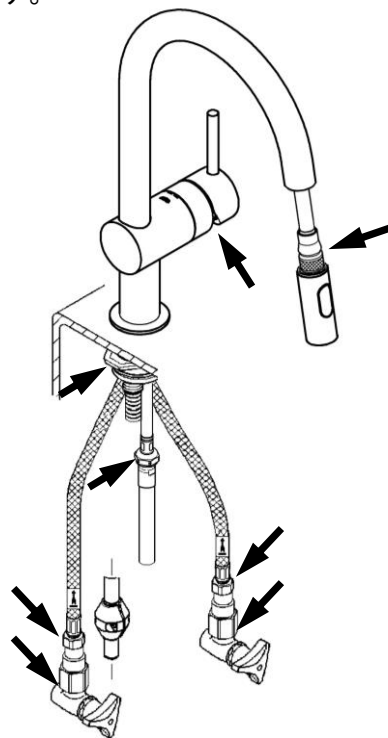
スプレーヘッドの切替確認



注意

※閉栓すると自動的に整流吐水にもどります。
※水圧が高い場合は切替操作が重く感じます。

3. 開閉レバーで止水し、接続部からの漏水がないか確認します。

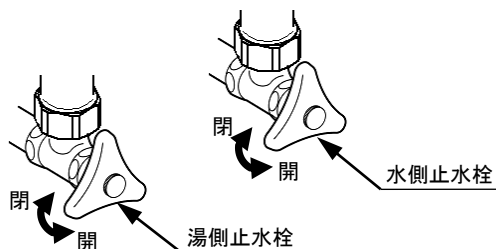


注意

※万が一漏水が確認された場合は、パッキンを新品に取り替え、再度規定のトルクで締付を行ってください。
※Oリングの切れ等が漏水の原因となります。

2. 流量調整

お使いいただく現場で、適量・適温が得られるよう、止水栓で調節します。



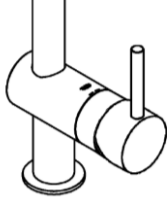
注意

レバーハンドルを全開にしたとき
シャワーの流量が湯と水でそれぞれ約8L/min(※)
を超える場合は、止水栓で流量調節をして下さい。
(※1リットルの容器をいっぱいにするのに約7~8秒)

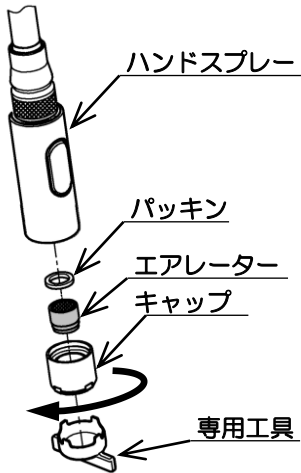
取付後の確認

3. エアレーターの清掃

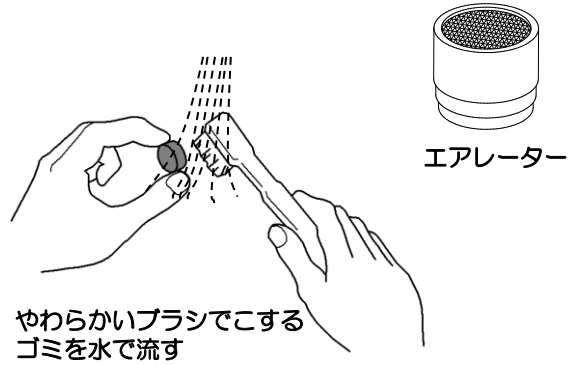
1. レバーハンドルを止水状態にします。



2. 専用工具を使用してキャップ取外し、エアレーターを取り出します。



2. エアレーターに付着したゴミを取り除きます。



注意

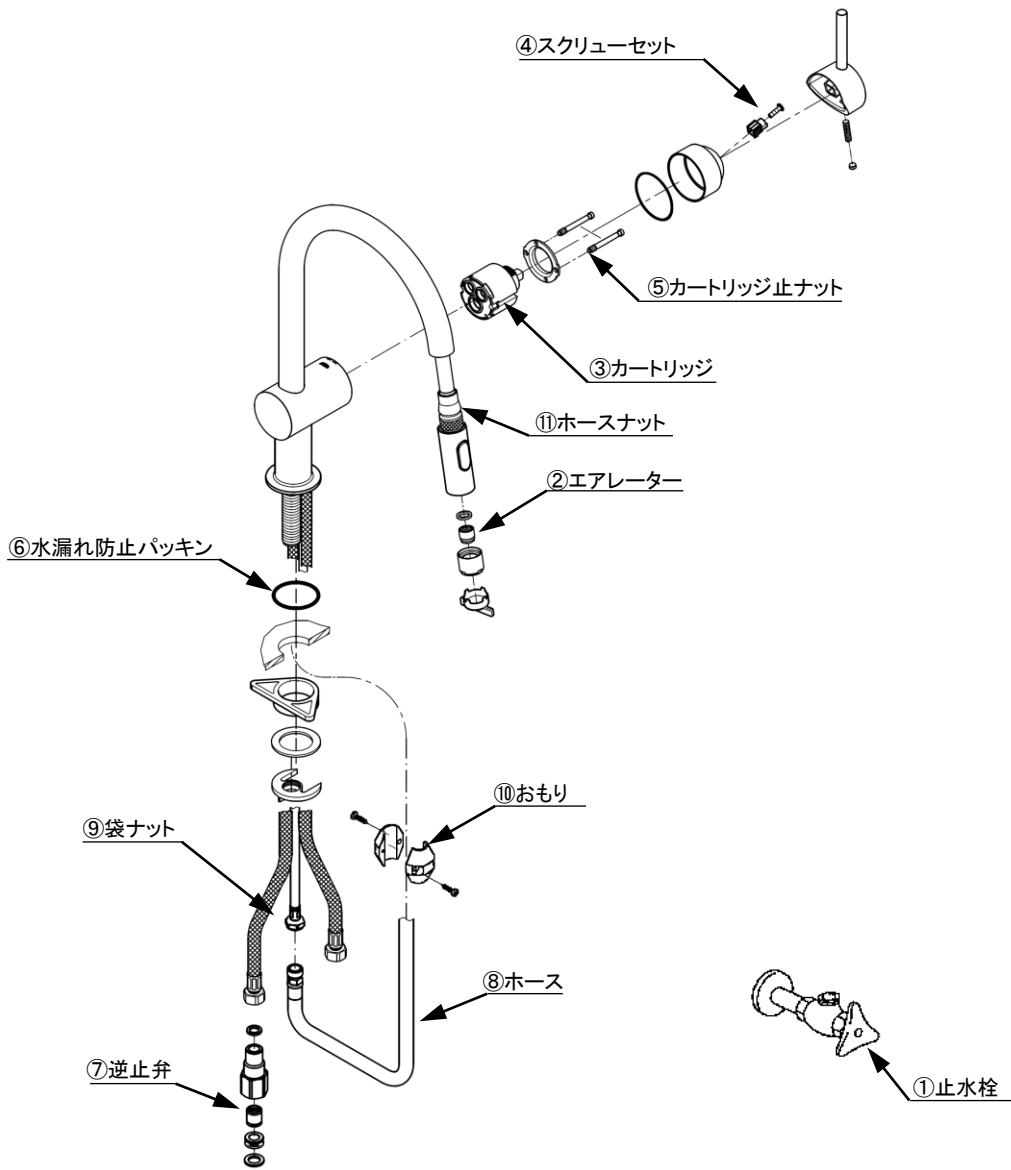
- ・清掃後は、専用工具を使用して、確実にエアレーターを取付けてください。
- ・専用工具は施工後、お客様にお渡しください。

ポイント

通水直後にはシールテープ、グリス等が付着している事があります。よく水洗いしてください。

故障と点検

製品設置後に万一故障した際は、次の要領で分解及び点検を行って下さい。



現象	点検箇所	処置
吐水量が少ない	①	圧力は十分か？十分開いているか？
水が止まらない	②③⑦⑧	破損・ゴミかみはないか？
温度不良	①	圧力は十分か？十分開いているか？
レバーがガタつく	③⑦	破損・ゴミかみはないか？
カウンター内の漏水	④⑤	きちんと取り付けてあるか？
	⑥	きちんと取り付けられているか？
	⑧	破損・ねじれはないか？
ホースが引き出せない	⑨	破損・ゆるみはないか？
	⑪	破損はないか？
ホースが引き出せない	⑩	きちんと取り付けてあるか？

注記：寒冷地仕様には逆止弁がありません。

グローエジャパン株式会社

ホームページアドレス<https://www.grohe.co.jp/>